

業機械が入れない土地、再生の難しい困難な放棄地があり、引き続きその解消に当たると同時に、いまだに耕作離農が進む現状に対し、次の問題①就農者の高齢化・後継者への継承、②小規模での集落営農の推進、③担い手の育成等地域全体で考え、協力を得て諸問題を解決すべく、微力ながら努力していきたいと思っております。

地域の農地を守る



山本 淳

一昨年、農地法の一部が改正されました。我々農業委員に関する主な内容は、(1)農地を確保するため農振地域内の農用地(農振農用地)の転用が従来より厳しく制限されたこと。(2)従来の業務に加え新しく農振農用地の遊休農地を解消することです。

私は、これらのことを踏まえて次のことを目標に活動していきたいと考えています。
1. 地域の農地を守り利用する。
2. 農業の担い手を育て支援する。
3. 担当地域の農業に関する世話役として活動する。
4. 地域の農地の利用状況調査(農地パトロール)を実施することです。
今後3年間、地域の農家のみなさんのよき相談相手となって地域の農地を守りたいと考えていますので、ご指導ご鞭撻をよろしく願います。

農業委員としての心構え



濱口 義弘

この度の一般選挙におきまして、農業委員を務めさせていただきますことになりました。向こう3年間の任期ではありませんが、田の中にあつては田圃目線を心がけ、人の中にあつては人目線で、又当然のことながら、農業委員であるからには「農地法」の番人として番人らしく「法」をよく理解し忠実に遂行してまいりたく考えています。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

農業への思い



吉田 保雄

これからの農業は規模拡大の方向で進んでいくようですが、私は昔から愛着を持って耕作している小規模農家の人もできるだけ成り立って耕作できるように進めていってほしい。また、後継者がいなくても、水の管理ぐらいは家の人に関わってほしいと思います。
今後の岩美町の農業を考えると、国内外から岩美町に来ていただき、滞在していただくようなことができないか考えてみたい。1日100人くらい来て、3日間滞在すれば町の米の生産高の約1%を消費します。また、1日1万円

農業委員として



足立 義明

使っていただければ年間約10億円の消費額となります。さらに、町民に対しても町内で物を購入、食事をすると、宿泊するなどの金額をポイントにし、町で表彰というようなことをすれば町内が盛り上がることも、少しでも農水産品の消費に繋がるのではと考えています。

この度、農協より組織推薦をいただき、農業委員をお引き受けいたしました。農地を保全し、食料の生産増強を図るため、担い手農家の育成や集落営農組織の支援等を行うことは、住民に安全で安心な食糧を生産、供給するために、必要不可欠であります。

農業委員として思うこと



奥村 敦夫

この度の改選で、引き続き農業委員として務めさせていただきますことになりました。農業委員の高齢化、後継者不

農地雑感



大西 純雄

ち農業委員を叱咤激励し、いつまでも輝き続けてほしい。

まだまだ輝け、66歳



山添 友治

足も深刻な状況にあります。一方で、遊休農地の増加が懸念されていますが、遊休農地の解消に向けて皆様のご理解とご協力を得ながら頑張りたいと思っています。
今年8月から、試験的に2年間の米の先物取引が始まりましたが、少し興味もあり、今後の成り行きを見守っていきたくと思っています。
農業委員として、岩美町農業の発展・継承のために一助になればと思っておりますので、よろしく願います。

昨年の統計データですが、主となる農業者の年齢が全国平均で66歳と報じられました。終戦を待っていたかのようにこの世に命を授かり、日本の経済復興と共にささやかな恩恵を受けながら、先祖から受け継がれた土地があるというだけで汗水たらして子どものために、孫のためにと今日まで頑張ってきた66年。時代と共に子どもたちの思いも環境も変わったのが、先祖から、親からという土地に対する思いは残念ながら薄らいで来ていると感じる昨今、私の周りからもこんな声が聞こえて来る……

農業委員になって



田中 康雅

この度、農業委員に推薦されました。その任が果たせるかどうか不安でしたが承諾するにいたりました。
一昨年、会社を定年退職しましたが、それ以前は会社勤めと所有する60アールの水田